

躍止佳

いきいき狭山人
ひと

みなぎるエネルギーを太鼓に込めて 聞く人の心に響き渡るような 力強い演奏を続けていきたい

市内には音楽やダンスなど、さまざまな分野で活躍している多くの若者たちがいます。その中で、日本の伝統文化である和太鼓を演奏し、人の心を和ませ、楽しんでもらいたいと

活動しているのが、狭山茶つみ太鼓の皆さんです。

「私たちの活動は、あいさつを中心とした礼儀を身につけることを基本としています」と語るのは代表の中島義美さん。太鼓の技術向上と同時に礼儀作法の大切さを強調します。

平成11年に発足した同会には、現在、30名が在籍し、家族ぐるみでの参加もあることから、とても家庭的で温かい雰囲気を感じられます。

主な活動は、毎年行われる狭山稲荷山公園での桜まつりや、入間川七夕まつりなどでの演奏です。また、地域主催の夏祭りをはじめ、老人ホームや小学校で演奏を行い、幅広い年代の方との交流を大切にしながら、地域に密着した活動を続けています。

「老人ホームで演奏をしていたとき、重度の認知症の方にも関わらず、一瞬思い出したのか、前にも来てくれたね」と話しかけられ、驚くと同

時に大変うれしく感じました。また、

小学校での演奏では、音の大きさに戸惑いながらも、真剣に見つめる子ども達のまなざしが、とても印象的で、演奏している私たちも自然と気合いが入りました

「と語り、太鼓の持つ力やその魅力が、活動を続けて行くことへの原動力にもつながっているようです。

しかし、道具の維持費が高額になってきていることに加え、夏祭りなどの発表の場や機会が少なくなっていることがとても残念です」と、活動を取り巻く環境がとても厳しいことも現実のようです。

最近では、コンガやボンゴなどの外国の楽器とコラボレーションを行うなど、新しいジャンルにも挑戦している狭山茶つみ太鼓の皆さん。



チームワークのよさはどこにも負けません

ティーンズ・クラブ所属(狭山市文化団体連合会加盟団体)

狭山茶つみ太鼓

「多くの皆さんに太鼓のすばらしさや楽しさを知ってもらうためには、何よりも活動を継続していくことが大切だと思います。これからも仲間と力を合わせて創意工夫と努力を続け、前向きに活動して行きたいと思っています」と、力強く語ってくれました。

高齢社会の中で、若者たちが力を合わせて、地域の活性化と、子ども達の健全育成のために活動を続ける狭山茶つみ太鼓のこれからの活躍が大いに期待されます。



人前での演奏は気合いが入り、我を忘れてばちを振り続けます。その響きは、人の心を打ち、観客を魅了します

オピニオン

成人式会場で、 今年の新成人に聞きました

あなたの将来の夢は
狭山市に望むこと
社会にどのように貢献しますか



指田絵里さん
(水野在住)

幼いころからパティシエになることが夢で、仕事をしながら勉強を続けています。入曽の駅前整備をぜひお願いします。お菓子などおいしいものを作ったりして、明るく楽しい家庭を築きたい。それが社会の基本だと思います。



阿部祐樹さん
(南入曽在住)

子どもが大好きなので、子どもがたくさんいるにぎやかな家庭をつくりたい。子育てしやすい環境と学校教育に力をいれてほしい。何事にも責任感を持ち、一つの仕事に長く取り組むことで社会に貢献していきたいと思っています。



内山祐美さん
(笹井在住)

保育士になりたいです。大好きな子ども達に接する仕事が夢です。これからも緑を残して、貴重な自然を生かしてほしい。子育てしやすい社会をつくるのが重要だと思います。保育の分野で福祉の向上のために役立ちたいです。



市川 誠さん
(上奥富在住)

電気工事の仕事をしたいので、もっと勉強して専門知識を身につけたい。新しくなる狭山市駅西口が楽しみ。若者にも魅力あるまちになってほしい。常に人のためになることを考えていきたい。それが社会貢献につながると思います。

皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)
✉koho@city.sayama.saitama.jp

私の宝物 ...

サーフボードに夢を乗せて



湯本伸一さん
(北入曽在住)

私の宝物は、25歳のときに購入したサーフボードです。職場の先輩に誘われ、近くにあったサーフショップに出かけたことがサーフィンを始めるきっかけとなりました。

季節にかかわらず、時間があれば千葉県館山まで出かけ、日の出とともにサーフ



2m80cmを超える自慢のサーフボード

ボードを抱え海へ飛び出します。潮風に吹かれながら集中して波を待っているのは意外と楽しく、大きな波を乗りこなしたときの達成感は格別です。

将来は、家族そろってサーフィンを楽しむのが夢で、子どもに教えられるように練習し、技術を磨いていきたいと思っています。

次回は、友人で狭山にお住まいの方をご紹介します。

Hello ハロー 仲間たち

Vol.330



料理作りが楽しい 語らいの場にもなっています

料理サークル ママクック

私たちの会は、昭和63年に20名の会員で発足した市内の料理サークルの草分けは、パンキンが前身で、活動休止の時期もありましたが、平成7年からは「ママクック」と名前を変え、柏原公民館で月1回の活動を続けています。

会員の年齢は50歳から70歳代ですが、みんな元気にさまざまな角度から料理を研究しています。活動日には、当番になる人が食材の買い出しからレシピまでを考え、その日の講師役になるのですが、これも会員には料理に取り組むよい刺激になっています。

私たちは、食材を無駄にしないことや、添加物を避けて加工品などを使わないこと、手間ひまを惜しまず安価な食材を有効に使うことなどをモットーに、それぞれの家庭の味を生み出す心のこもった料理作りを目指しています。

また、自然に手際よく仕事を分担しあえるチームワークのよさも私たちの自慢で、料理に親しみ親睦を深められる楽しいサークルです。

問合せ有馬和恵さんへ

2953 9288